

特集：防鳥対策

巻頭言

平成が終わり令和となりました。平成を振り返るテレビ番組が放映され、新聞・雑誌等が出版されていますが、その中で平成の 30 年間で中小零細企業が約 4 割無くなったと云うデータを見たときは、驚愕と併せ何か怒りの様なものを感じました。

その記事によると平成初めに 520 万社あった中小零細企業が平成 30 年には 380 万社と成り、約 40%減ったとのことでした。特に小売業は 60%減となり、シャッター通りと云われる商店街が増えた原因と成っているそうです。また零細の製造業も 42 万社から 18 万社と約 55%減りましたが、他方で 300 人以上の大企業製造業は殆ど変わっていないそうです。私の平成の印象はバブル後の「忘れられた 25 年」と云われるように、景気が回復したのはこの 5 年ほどで、2008 年リーマンショック、2011 年東日本大震災と殆どの期間が景気の悪い時期であったと思っています。多くの方の印象がそうではないでしょうか。しかし大企業は、中小零細企業が大変厳しい時代であった平成の 30 年間で、内部留保を約 140 兆円から約 440 兆円と 3 倍以上増やしているのです。何か腑に落ちませんし、矛盾を感じます。みなさんはどうお考えになりますか。

また令和に成り、働き方改革が本格化しています。テレビでは働き方改革の対応として、いろいろな番組が放映されていますが、その多くは大企業です。先日はコピーや郵便物の郵送など単純事務業務をまとめて対応する部署を時短・効率化の為に新設したと、事務用品大手のニュースが放送されていました。そんなことが出来る中小零細企業がどれだけあるのでしょうか。そして、マルマではまだ豚コレラの対応が続いています。国・県からの依頼であり公の仕事ですので、しっかり対応したいと思っています。しかし、本業が忙しくなる時期と重なり、残業がすでに規定時間をオーバーする技術者が増えています。本業が出来なくなれば、経営に直結します。結局中小企業にしわ寄せが来ることになるのでしょうか。文句ばかり言っても仕方が無い事は分かっていますが、国には実情に合った対策を真剣に検討して頂きたいと思います。

実は私もこの 1 ヶ月の間に年が変わりました。体の衰えを感じますが、仕事と同じで嘆いてばかりではいけません。25 年ぶりにシックスパックに成ります。

(雅)

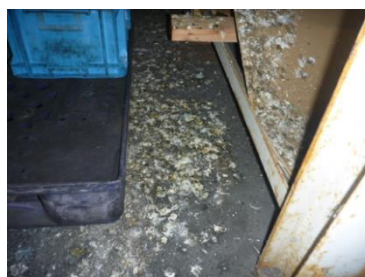
防鳥対策

春は動物にとって活動的になる時期です。特に、鳥達は繁殖のための巣を人の生活域に作ることも多いため、工場やマンション、住宅など様々な場所で問題になりやすいです。そこで、今回のエムテックインフォメーションでは、私たちにとって最も身近な動物である鳥類の対策（防鳥対策）についてご紹介します。

鳥類による被害と対策

被害を起こしやすい鳥類は、ドバト、ムクドリ、スズメ、カラスなどの種類が多く、被害の内容としては、①「糞による汚損被害」、②「営巣による汚損や健康被害」、③「ゴミ漁り」、④「農作物への被害」などが挙げられます。この中で工場において最も問題になりやすいのが、①「糞による汚損被害」で、商品外装などに糞や羽が付着してしまうケースで、食品工場では深刻な問題となります。一般住宅やマンションでは、②「営巣による汚損や健康被害」が起きやすく、ドバトが天井裏やベランダに巣を作り、そこから発生したダニ（トリサシダニ等）に刺される被害も多いです。

このような被害が起きないようにするための防鳥対策として、防鳥ネット、防鳥スパイク・プロテクター、防鳥ワイヤー、忌避剤などが挙げられます。



糞による汚損



トリサシダニ

防鳥ネット

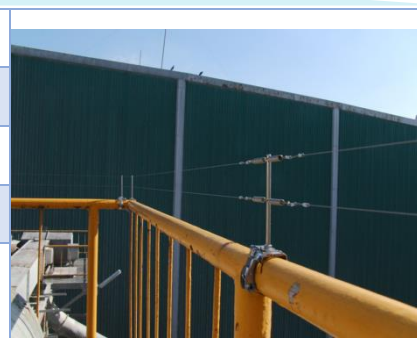
用途	鳥の侵入や着地を物理的に防止するためのネット	
取り付け箇所	庇、ベランダなど	
費用と効果	初期費用は高いが、 防鳥効果は絶大	
外観	ネットの色や太さによってはやや目立つ	
特徴・注意点	鳥の種類によって推奨されるネットの網目サイズが異なる (例：ドバト 40mm、ムクドリ 19mm、スズメ 15mm)	

防鳥スパイク・プロテクター

用途	鳥の着地を物理的に防ぐための剣山	
取り付け箇所	H 鋼や配管、看板、室外機、照明など 様々な箇所に設置が可能	
費用と効果	初期費用は高くなく、防鳥効果も高い	
外観	設置場所によっては目立つ	
特徴・注意点	小型動物避けにも使用できる ステンレス製やプラスチック製がある 針状のため、人が触る場所にはあまり適さない	

防鳥ワイヤー

用途	鳥の着地や侵入を物理的に防ぐための細いワイヤー
取り付け箇所	屋根、H 鋼などの箇所に設置が可能
費用と効果	初期費用は高くなく、防鳥効果もやや高い
外観	目立ちにくく、美観を損ねにくい
特徴・注意点	スパイクとは異なり、人が触っても怪我の恐れがほとんどないため、人が触るような場所でも施工が可能



忌避剤

用途	鳥を忌避させる薬剤 ベトベトした質感、見た目、臭いなどで近寄らなくなる
取り付け箇所	ベランダ、庇、H 鋼や配管など様々な箇所に設置が可能 容器に入れて吊るしたり、直接塗布することも可能
費用と効果	初期費用は安い、防鳥効果はほどほど
外観	設置場所によっては目立つ
特徴・注意点	効果の持続期間が商品によって決まっており、およそ 1 年程度の商品が多い。定期的な追加施工が必要



有害鳥類の捕獲

上記は、鳥類が着地・侵入できないようにする方法でしたが、これらの対策が実施できなく、且つ被害が大きい場合には、「箱罠による捕獲」も有効な手段です。このとき、どのような鳥でも勝手に捕獲ができるわけではありません。例えばドバトの場合では、捕獲するためには狩猟免許が必要で、各市区町村へ捕獲申請を行って許可を得た上でしか捕獲は実施できません。捕獲の際には事前調査や許可申請などで 2 週間ほどかかるケースが多いです。



捕獲駆除の流れ： 事前調査 → 許可申請の提出 → 箱罠の設置 →
→ 点検・回収（飛来数が徐々に減少） → 箱罠の撤去 → 報告書の提出（完了）

最後に

防鳥対策では、まず鳥を寄せ付けない環境にすることが第一です。弊社では、各種の防鳥対策に迅速に対応可能で、捕獲の際に必要な狩猟免許の保持者が 10 名以上もいます。また、鳥獣被害対策の専門協会である一般社団法人 日本鳥獣被害対策協会の会員に入っており、技術研修会等も実施し技術力を高めています。

防鳥対策は弊社までお問い合わせ下さい。

害虫獣紹介

クロコバエ類

暖かい季節になり、虫が活動を始めたことで食品工場を悩ます虫も多くなってきています。今回はライトトラップに捕獲される虫の1つである「クロコバエ類」について紹介します。

生態

クロコバエ類は、クロコバエ科に属するコバエの総称で、日本に現在5種類以上いることが報告されています。体長は約2~3mmで、体は黒色をしており、頭部にはM字型の模様が確認されます。幼虫は糞、堆肥、動物や植物の腐敗物、排水溝や水回りの残渣を餌とすることから、それらが発生源となります。成虫はアリやクモといった捕食性の生き物が捕獲した獲物を奪い、食べるという変わった習性が知られています。光や食品残渣の臭いに誘引される性質を持ち、一般家庭をはじめ、病院や食品工場などに侵入します。

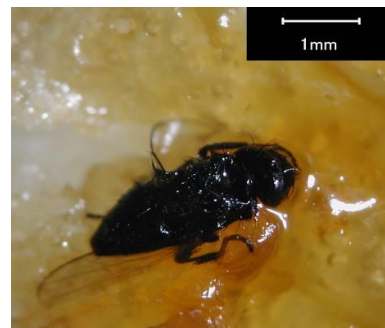


図 クロコバエ類の1種
Milichiidae

被害

食品の腐敗物、排水溝や水回りの残渣などから発生するため、食品工場では異物混入の被害例があります。また、周辺に畜舎などがあるとクロコバエ類が大量に発生し不快感を与える上に、侵入の危険性が高まります。

対策

室内にいる成虫は光に誘引される性質（走光性）があるため、ライトトラップによる捕獲が有効です。外部からの侵入を防ぐ目的として、隙間へのコーキングやテープによる穴埋め、扉や窓の開放厳禁の徹底があります。また、幼虫の発生源は動植物の腐敗物、排水溝や水回りの残渣であることから、こまめな清掃による発生防止が重要になります。

食中毒情報

今月も件数、患者数ともにノロウイルスが最も多く発生していました。5月に入ってもノロウイルス食中毒が続いており、100人を超える患者が発生する事件も起こっていました。いずれも調理従事者からもウイルスが検出されており、健康チェックとノロウイルス検査による感染者の確認と予防対策実施が重要であることが分かります。

今月は、自然毒の食中毒事件が増加していました。スイセンをニラ等と間違えて食べてしまった事件が多く、イヌサフランをギョウジャニンニクと間違えて食べてしまった事件では死亡者も発生していました。その他、トリカブトの誤食事件なども発生しており、庭に自生している植物や、山菜を採って食べる際には、食用であることが明らかなもの以外は決して食べないように注意して下さい。

全国食中毒発生状況 (4/15~5/14 新聞発表分等)

原因物質	事例	感染者数
ノロウイルス	12	504
自然毒	8	14
寄生虫	4	22
カンピロバクター	2	14
不明・その他	2	81

『ひとつ、ふたつ…快適環境を生み出します』

MARUMA MITEC
株式会社 マルマ エムテック衛生検査所

メールアドレス: info@maruma-ec.co.jp

本 社 / 〒430-0807 浜松市中区佐藤 2 丁目 5-11
TEL: (053)464-6400 FAX: (053)465-4120
東京支店 / 〒194-0005 東京都町田市南町田 2-15-14-402
TEL: (042)850-6454 FAX: (042)850-6456
静岡支店 / 〒422-8046 静岡市駿河区中島 960-1
TEL: (054)202-0210 FAX: (054)202-0220

名古屋支店 / 〒452-0946 愛知県清須市廻間 1-5-9
TEL: (052)325-3306 FAX: (052)325-3326
関西支店 / 〒658-0026 兵庫県神戸市東灘区魚崎西町 2-4-15
TEL: (078)842-6755 FAX: (078)858-6802
福岡支店 / 〒814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉 5-10-3-102
TEL: (092)707-7810 FAX: (092)707-7870